

平成13年度 施策別 取組 方向

部局名：総合企画局・地域振興部

施策番号	施 策 名		
513	戦略的な情報交流の推進		
<p>【2010年度の目標】 県民の間に地域に対する誇りや愛着が高まるとともに、多様な媒体を活用した県内外への三重に関する情報発信量の増加により、三重の知名度が向上し、三重に対する印象がよくなっています。</p>			
項 目	基準年度の状況	1999年度実績	2001年度の目標 (2010年度の目標)
情報発信量	全国22位 (1995年度)	全国25位 (1998年度)	全国18位内 (全国15位内)
三重県が好きという 県民の割合	77.4% (全国39位) (全国平均 81.4%)	—	82%以上 全国24位内 (90%以上 全国5位内)

1 平成11年度の取組

(1) 平成11年度の取組概要とその成果

(総合企画局)

- ・県内外の人に対し、多様な広報媒体を通じて三重県の情報を発信するとともに、本県情報を首都圏・関西圏等のマスコミ各社に提供し、県政情報の報道・掲載を依頼した。
- ・名刺の台紙の配布部数の減や一部テレビ・ラジオの視聴率の低下はあったものの、本県のデータ等を掲載した情報ハンドブックは、情報の共有になり、本県情報の理解に役立ち、報道関係者や県民等の問い合わせに対し、的確に対応できることとなった。

(地域振興部)

- ・自治体連携衛星デジタル放送事業については、12番組を放送し、全国衛星通信加入者や県下のケーブルテレビ加入者等に視聴してもらうことができ、三重県をアピールできたものとする。
- ・放送番組制作については、各部局の職員及び県内のCATV局撮影担当者の連携のもと、シナリオ作成から現場撮影に至るまで満足いくものが制作できた。

(2) 平成11年度の取組に対する問題点

(総合企画局)

- ・県内外の人に対し、本県の知名度の向上、イメージアップにつながる情報とは何かを明らかにする必要がある。また、どのメディアを使って、どこまでやるかを明らかにする必要がある。
- ・県外への情報発信について、特に関西圏への情報発信を強化する必要がある。

(地域振興部)

- ・内容について、あらゆる分野から幅広いメニューの番組制作が必要。
- ・番組の内容は、秋のイベントに集中する部分が多いため、イベントに偏らないように番組調整をするとともに、各部局からの番組素材提供の協力依頼を強化していく等の必要がある。

2 平成12年度の取組と成果見込み

(総合企画局)

- ・広聴広報会議において、効果・効率の観点から広報メディアの発行時期や内容等の調整を図るとともに、統一テーマを決定し戦略的な広報を進める。
- ・近畿府県が共同で行っている情報交流番組を通じて、関西圏において本県情報を発信する。
- ・首都圏・関西圏へのマスコミ各社への情報発信については、東京事務所・大阪事務所との連携を深める。

(地域振興課)

- ・各部局からの番組の素材提供が少ないため、平成13年1月より平成13年度撮影予定の番組素材を各部局へ照会し、早い時期から番組撮影のスケジュール及び番組撮影内容等を調整し、余裕ある番組制作を図る。

3 平成13年度以降に向けての取組方向

(総合企画局)

- ・視聴率の低い近畿府県の共同事業による情報交流番組等をその施策の目的達成のための貢献度や費用対効果から見直すとともに、平成13年度県外への情報発信については、広聴広報会議などの場を通してテーマの統一や時期を調整し、効果的、効率的に実施する。
- ・県外の情報発信については、従来の冊子等による情報提供からインターネット等を活用した方法に転換を図る。

(地域振興部)

- ・貴重な県政PRの場として、三重県らしさをアピールできる制作番組内容の充実を図る必要がある。
- ・全国のCATV局が地域衛星通信回線ネットワークを受信できる環境を整備し、より多くのCATV加入者に視聴ができる体制が必要である。
- ・各部局からの番組の素材提供が少ないため、平成13年1月より番組素材を各部局へ照会し、早い時期から番組撮影のスケジュール及び番組内容等を調整し、余裕ある番組制作を図る必要がある。